

卒前支援プロジェクト 自治医科大学適用カリキュラム (令和4年度)

1 教育科目

教育科目名	授業科目名	学年	責任者
地域医療学	地域医療学総論	1 学年	小谷和彦
	地域医療学各論 1	2 学年	小谷和彦
	地域福祉実習	2 学年	小谷和彦
	地域医療学各論 2	3 学年	岡崎仁昭
	地域医療学各論 3 (新)	4 学年	小谷和彦
	地域医療学各論 3 (旧)	5 学年	小谷和彦
	地域医療学各論 4	6 学年	小谷和彦
社会医学	公衆衛生学	5 学年	中村好一

2 臨床実習

実習科目	学年	所属講座	指導教員名
早期体験実習	1 学年	地域医療学部門	小谷和彦
地域医療 I 実習	4 学年	総合診療部門	松村正巳
地域医療 II 実習	5 学年	地域医療学部門	小谷和彦
地域保健実習	5 学年	公衆衛生学部門	中村好一
都道府県拠点病院実習	6 学年	地域医療学部門	小谷和彦

科目番号	科目名	責任者	学年
L4102	地域医療学総論	小谷 和彦	1 学年

○ねらい

- 1) 地域医療の概要を理解する。
- 2) 地域志向の基本を理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- A-1-3 : プロフェッショナリズム-医師としての責務と裁量権
- A-7-1 : 社会における医療の実践-地域医療への貢献
- B-1-8 : 集団に対する医療-保健・医療・福祉・介護の制度
- B-4 : 医療に関連のある社会科学領域

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- I-1-4 : 病気とともに、病人とその家庭や地域に強い関心を持ちこれらを支援の対象とする姿勢をもつ
- IV-1-8 : 医療科学 (医療放射線、理学療法、看護、臨床工学) についての知識
- IV-1-9 : 予防・社会復帰を含む包括的なものとして社会と結びつけて医療を把握する態度
- IV-2-5 : 地域分析を実践する上での情報収集と分析方法の理解
- IV-2-6 : ソーシャル・キャピタルの概念の理解

○教科書

- 1) 自治医科大学「Dr. ジチ - 医療の谷間に灯をともし人々」、下野新聞社、2006
- 2) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 3) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 中村伸一「寄りそ医 支えあう住民と医師の物語」、KADOKAWA、2011
- 2) 小谷和彦 地域志向アプローチin「総合診療専門研修の手引き (草場鉄周編集)」、中山書店、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日 (曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年10月14日(金) 1	1 地域医療の概観	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年10月21日(金) 1	2 プライマリ・ケア、家庭医療、総合診療	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年10月28日(金) 1	3 医療人類学	宮地純一郎	外来講師
2022年11月11日(金) 1	4 へき地診療所での実践	中村 伸一	外来講師
2022年11月15日(火) 1	5 都市計画とまちづくり	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月18日(金) 1	6 医療機関での健康問題への対応 (救急・災害医療を含む)	寺裏 寛之 (小谷和彦)	地域医療学部門
2022年11月25日(金) 1	7 地域診断学	菊本 舞	外来講師
2022年11月29日(火) 1	8 地域医療システムに関する制度 (地域枠制度を含む)	松本 正俊	外来講師
2022年12月 2日(金) 2	9 地域志向性や広域連携を伴う病院医療の実践	後藤 忠雄	外来講師
2022年12月 9日(金) 2	10 地域医療学教育 (自治医大の建学精神やキャリア形成を含む)	小谷 和彦	地域医療学部門

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

多肢選択問題で行う。筆記問題を加えることもある。

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 4 2 0 1	地域医療学各論 1	小 谷 和 彦	2 学 年

○ねらい

- 1) 地域医療の基礎的事項を系統的に理解する。
- 2) 地域医療の学問的態度や考え方を養う。

○到達目標（モデルコアカリキュラム 対応項目）

- A-1：プロフェッショナリズム
- A-7：社会における医療の実践
- B-1-7：集団に対する医療-地域医療・地域保健
- B-1-8：集団に対する医療-保健・医療・福祉・介護の制度
- B-4：医療に関連のある社会科学領域

○コンピテンシー（ディプロマポリシー 対応項目）

- I-1-2：保健・医療・医学の専門職としての役割の自覚と責任感をもつ
- I-1-4：病気とともに、病人とその家庭や地域に強い関心を持ちこれらを支援の対象とする姿勢をもつ
- IV-1-9：予防・社会復帰を含む包括的なものとして社会と結びつけて医療を把握する態度
- IV-2-3：地域の文化・歴史・環境への理解を通して地域医療の遂行
- IV-2-5：地域分析を実践する上での情報収集と分析方法の理解

○教科書

- 1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 2) Ian R. McWhinney & Thomas Freeman「マクウィニー家庭医療学」（葛西龍樹訳）、ぱーそん書房、2013
- 3) 日本プライマリ・ケア連合学会「基本研修ハンドブック」南山堂、2017
- 4) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) James F. McKenzie, Robert R. Pinger, Jerome E. Kotecki「An Introduction to Community Health」、Jones & Bartlett Learning、2011
- 2) 自治医科大学「地域医療白書1～4号」、2002、2007、2012、2017
- 3) 小谷和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日（曜） 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年11月1日(火) 4	1 地域包括ケア	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月1日(火) 5	2 自治体行政学	藤田 康幸	学内講師
2022年11月4日(金) 2	3 健康に関する社会決定要因とソーシャルキャピタル	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月7日(月) 3	4 慢性疾患ケア（高齢者ケアやACPを含む）	中村 晃久	地域医療学部門
2022年11月10日(木) 4	5 家族志向ケア	南 孝臣	外来講師
2022年11月14日(月) 1	6 プライマリケア研究序説	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月15日(火) 2	7 地域医療構想	伊藤由希子	外来講師
2022年11月21日(月) 2	8 離島医療（遠隔診療を含む）	前田 隆浩	外来講師
2022年11月24日(木) 2	9 地域医療データサイエンス考	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月24日(木) 3	10 地域住民論	小谷 和彦	地域医療学部門

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

多肢選択問題で行う。筆記問題を加えることもある。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4202-1	地域福祉実習	小谷 和彦	2 学年

○ねらい

- 1) 地域包括ケアシステムの概念のもとで、地域における保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性を説明できる。
- 2) 対人援助や介護の考え方を理解する。

○到達目標（モデルコアカリキュラム 対応項目）

- A-3-1：診療技能と患者ケア-全人的実践的能力
- A-4-1：コミュニケーション能力-コミュニケーション
- A-5-1：チーム医療の実践-患者中心のチーム医療
- B-1-8：集団に対する医療-保健・医療・福祉・介護の制度
- B-4-1：医療に関連のある社会科学領域-医師に求められる社会性

○コンピテンシー（ディプロマポリシー 対応項目）

- I-1-3：他者を理解し信頼関係を醸成できるコミュニケーション能力と態度を身につけている
- I-1-4：病気とともに、病人とその家庭や地域に強い関心を持ちこれらを支援の対象とする姿勢をもつ
- IV-1-5：リハビリテーション、障害者福祉、介護・ケアについての知識と実践
- IV-1-9：予防・社会復帰を含む包括的なものとして社会と結びつけて医療を把握する態度
- IV-2-6：ソーシャル・キャピタルの概念の理解

○教科書

- 1) 自治医科大学「地域医療テキスト」（地域医療システム論、介護と保健、地域医療を支える人材、メディカルスタッフの項）、医学書院、2009
- 2) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 医療福祉総合ガイドブック 2021年度版、医学書院
- 2) 社会保障制度指さしガイド 2021年度版、日経研

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日（曜）時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2023年1月13日(金) 4,5	1 オリエンテーション	中村 晃久 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門
2023年2月7日(火) 1,2,3,4,5	2 実習（学外：福祉・介護関連施設）	中村 晃久 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門
2023年2月8日(水) 1,2,3,4,5	3 実習（学外：福祉・介護関連施設）	中村 晃久 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門
2023年2月9日(木) 1,2,3,4,5	4 実習（学外：福祉・介護関連施設）	中村 晃久 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門
2023年2月10日(金) 1,2,3	5 地域福祉実習報告会（学内）	中村 晃久 青山 泰子 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門
2023年2月10日(金) 4,5	6 レポート作成	中村 晃久 小谷 和彦	地域医療学部門 地域医療学部門

○成績評価方法

レポート評価によって行う。なお、実習や報告会での態度に対する評価も加味する。

○試験方法

レポートを課す。

科目番号	科目名	責任者	学年
L 4 2 0 3	地域医療学各論 2	岡崎 仁昭	3 学年

○ねらい

- 1) 臨床各科のBSLで学習する前の社会的常識、必須の準備事項を理解し、身につける。
- 2) 医の倫理と患者の権利について理解する。
- 3) コミュニケーションの基礎を身につける。
- 4) 医療安全の基礎事項を学ぶ。
- 5) ハラスメントの基礎事項を学ぶ。
- 6) 緩和ケアの基本を身につける。
 - (ア) 緩和ケアの歴史、定義、概念を知る。
 - (イ) 緩和ケアに必要な症状コントロールとは何かを学ぶ。
 - (ウ) 緩和ケアに必要な態度を身につける。
- 7) 緩和ケアに必要なコミュニケーションの基礎を身につける。
- 8) 緩和ケアに必要な職種間の連携を学ぶ。
- 9) 緩和ケアに必要な地域連携を学ぶ。
- 10) 臨床疫学の基礎を身に付ける。

臨床疫学とEBMの基本概念を理解する。

疾病の頻度、診断、治療、予後についてEBMを適用する技術を身につける。

日常的なEBMの利用方法を理解する。
- 11) 臓器移植の種類と適応を理解する。

○到達目標（モデルコアカリキュラム 対応項目）

- A-1：プロフェッショナリズム
- A-4-2：コミュニケーション能力-患者と医師の関係
- A-5-1：チーム医療の実践-患者中心のチーム医療
- A-6：医療の質と安全の管理
- F-2-16：基本的診療知識-緩和ケア

○コンピテンシー（ディプロマポリシー 対応項目）

- I-1-2：保健・医療・医学の専門職としての役割の自覚と責任感をもつ
- I-1-4：病気とともに、病人とその家庭や地域に強い関心を持ちこれらを支援の対象とする姿勢をもつ
- III-1-3：医学・医療・科学技術と社会の変化に応じてキャリアを継続させる能力

○教科書

特に指定しない。

○参考書

- 1) 奈良信雄編：【図解】身体診察、2008（日本医事新報社）
- 2) 柴田寿彦・長田芳幸翻訳：マクギーの身体診断学、改訂第2版/原著第4版、2019（診断と治療社）
- 3) 竹本毅監訳：考える技術 臨床的思考を分析する、【第3版】2015（日経BP社）
- 4) 酒見英太編：診察エッセンシャルズ、新訂第2版、2018（日経メディカル開発）
- 5) 臨床実習開始前の「共用試験」第19版、2021
- 6) 日本医師会：新版がん緩和ケアガイドブック、2017（日本医師会のホームページにpdf版あり）
- 7) Twycross R編：トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント、第2版 2010
- 8) Cherny NI et al. Oxford Textbook of Palliative Medicine, 5th edition, 2015
- 9) Bruera E et al. Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care, 2nd edition, 2015
- 10) McDonald N et al. : Palliative Medicine. A case-based manual 3rd Edition.2012
- 11) Straus SE, Glasziou P, Richardson WS, Rosenberf W, Haynes RB : Evidence-based medicine. How to practice and teach EBM. 4th ed. Churhill Livingstone 2010

<EBMの全体像を簡潔に表す基本的図書>

12) 福井次矢 監訳：臨床疫学 第3版、メディカルサイエンスインターナショナル、2016

<FletcherのClinical Epidemiology, the essentialsの和訳>

13) 藤森麻衣子・内富庸介：続・がん医療におけるコミュニケーション・スキル（実践に学ぶ悪い知らせの伝え方）医学書院、2009

14) 入門腫瘍内科学 第2版、篠原出版新社、2015

15) 吉開俊一：移植医療 臓器提供の真実、文芸社、2013

○視聴覚資料

○授業内容、授業項目

年月日（曜）時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年8月30日(火) 4	1 ハラスメントの概念と防止の意識	青山 泰子	社会学
2022年8月30日(火) 5	2 臨床疫学 1	小谷 和彦	地域医療学
2022年8月31日(水) 4	3 プロフェッショナリズム - 医師としてのバックボーン	大生 定義	外来講師
2022年9月1日(木) 4	4 臨床医学の考え方	永井 良三	学 長
2022年9月6日(火) 1	5 臨床疫学 2	小谷 和彦	地域医療学
2022年9月6日(火) 5	6 臨床疫学 3	石川 鎮清	情報センター
2022年9月9日(金) 2	7 臨床疫学 4	松山 泰	医学教育センター
2022年9月16日(金) 4	8 移植医療Ⅰ 臓器移植	水田 耕一	消化器一般 移植外科学 (非常勤講師)
2022年9月16日(金) 5	9 移植医療Ⅱ 臓器提供	吉開 俊一	外来講師
2022年9月21日(水) 4	10 緩和ケア総論	丹波嘉一郎	緩和ケア部
2022年10月3日(月) 4	11 臨床免疫学 5	石川 鎮清	情報センター
2022年10月12日(水) 4	12 がん診療における患者対応	山口 博紀	臨床腫瘍部
2022年10月12日(水) 5	13 在宅ホスピス、医療連携	高橋 昭彦	外来講師
2022年10月13日(木) 5	14 社会的成人と常識（BSLでの行動）	岡崎 仁昭	医学教育センター
2022年10月14日(金) 4	15 チーム医療	丹波嘉一郎 稲見 薫 千葉さおり 荒川由起子	緩和ケア部 他
2022年10月17日(月) 5	16 医療安全Ⅰ	新保 昌久	QSセンター
2022年10月26日(水) 3	17 医療安全Ⅱ	新保 昌久	QSセンター
2022年10月28日(金) 4	18 真実を伝える、コミュニケーションスキル	稲田美和子	こころのケ アセンター
2022年10月28日(金) 5	19 臨床疫学 6	松山 泰	医学教育センター

○成績評価方法

100点満点で60点以上を合格とする。なお、態度評価を加味する。

○試験方法

2/3を超える出席で受験資格を認める。

定期試験：多肢選択式問題と記述式とを併用する。聴講しなければ、解答できない問題である。

再試験：多肢選択式問題のみで行う。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4206	地域医療学各論3	小谷 和彦	4 学年

○ねらい

- 1) 地域医療を通して地域社会におけるリーダーとしてふさわしい医師になるための素養を習得する。
- 2) 地域医療や地域社会の未来像を理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

A-1: プロフェッショナリズム

A-9-1: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢-生涯学習への準備

B-4-1: 医療に関連のある社会科学領域-医師に求められる社会性

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

Ⅲ-1-3: 医学・医療・科学技術と社会の変化に応じてキャリアを継続させる能力

Ⅲ-1-4: 医療の改善のために評価・検証し創生する能力

Ⅳ-1-8: 医療科学 (医療放射線、理学療法、看護、臨床工学) についての知識

Ⅳ-2-2: 地域の保健・医療チームの一員として多職種連携を協調的に実践し指導できる能力

Ⅳ-2-4: 地域医療を通じて地域づくりに貢献する能力

○教科書

1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009

2) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

1) 野中 猛、上原 久、高室 成幸「ケア会議の技術」、2007

2) 自治医科大学「地域医療白書1～4号」、2002、2007、2012、2017

3) 小谷 和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

4) 日本プライマリ・ケア連合学会「基本研修ハンドブック」、南山堂、2017

5) 自治医科大学「地域医療フォーラム2019報告書」、2019

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年9月1日(休) 1	1 地域社会のリーダー像、ナレッジマネジメント	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年9月1日(休) 2	2 ブレイクスルー思考1	日比野 創	外来講師
2022年9月1日(休) 3	3 ブレイクスルー思考2	日比野 創	外来講師
2022年9月1日(休) 4	4 アンガーマネジメント	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年9月1日(休) 5	5 組織マネジメント (後半: 実習ガイド)	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年9月2日(金) 1,2,3,4,5	6 多職種連携 (IPE) 実習	小谷 和彦 中村 晃久	地域医療学部門 地域医療学部門

○成績評価方法

レポート評価によって行う。実習時の態度に対する評価も加味する。

○試験方法

レポートを提出する。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4204*	地域医療学各論3	小谷 和彦	5 学年

○ねらい

- 1) 地域医療を実践する上で必要な知識、技術、態度を理解する。
- 2) 地域社会における医療の役割を理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- A-2 : 医学知識と問題対応能力
- A-3-1 : 診療技能と患者ケア-全人的実践的能力
- A-5-1 : チーム医療の実践-患者中心のチーム医療
- A-7-1 : 社会における医療の実践-地域医療への貢献
- C-2-2 : 個体の構成と機能-組織・各臓器の構成、機能と位置関係
- D-2-1 : 神経系-構造と機能

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- II-1-1 : 生命現象への基本的な理解
- II-1-2 : 人間の心身の正常な発育・構造・機能に関する知識
- III-1-1 : 総合的・科学的かつ沈着冷静に課題を探求・解決する態度
- IV-1-4 : 疾病予防・健康促進についての知識と実践
- IV-1-5 : リハビリテーション、障害者福祉、介護・ケアについての知識と実践
- IV-2-1 : 地域の保健・医療システム、特に過疎地域における地域包括ケアへの理解と実践
- IV-2-2 : 地域の保健・医療チームの一員として多職種連携を協調的に実践し指導できる能力
- IV-2-4 : 地域医療を通じて地域づくりに貢献する能力

○教科書

- 1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 2) 日本プライマリ・ケア連合学会「基本研修ハンドブック」南山堂、2017
- 3) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 小谷和彦「参加者の心と体を動かす健康教室の実践」、羊土社、2008
- 2) 小谷和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年4月8日(金) 5	1 地域包括ケアと多職種連携	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年4月15日(金) 5	2 地域における外来診療	中村 晃久	地域医療学部門
2022年4月22日(金) 6	3 社会学的視点のある地域医療	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年5月20日(金) 6	4 福祉・介護系サービス	中村 晃久	地域医療学部門
2022年5月27日(金) 6	5 病診連携 (ICTの活用を含む)	大原 昌樹	外来講師
2022年6月3日(金) 5	6 診療関連書類や指示書の作成と活用	矢吹 拓	外来講師
2022年6月10日(金) 6	7 医療機関の運営 (働き方改革を含む)	中村 晃久	地域医療学部門
2022年6月17日(金) 6	8 地域予防医療 (行動科学を含む)	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年7月1日(金) 6	9 在宅医療	山中 崇	外来講師
2022年7月15日(金) 6	10 地域社会とへき地医療	小谷 和彦	地域医療学部門

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

多肢選択問題で行う。筆記問題を加えることもある。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4205*	地域医療学各論4	小谷 和彦	6 学年

○ねらい

- 1) 地域医療を通して地域社会におけるリーダーとしてふさわしい医師になるための素養を習得する。
- 2) 地域医療や地域社会の未来像を理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

A-1: プロフェッショナリズム

A-9-1: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢-生涯学習への準備

B-4-1: 医療に関連のある社会科学領域-医師に求められる社会性

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

Ⅲ-1-3: 医学・医療・科学技術と社会の変化に応じてキャリアを継続させる能力

Ⅲ-1-4: 医療の改善のために評価・検証し創生する能力

Ⅳ-1-8: 医療科学 (医療放射線、理学療法、看護、臨床工学) についての知識

Ⅳ-2-2: 地域の保健・医療チームの一員として多職種連携を協調的に実践し指導できる能力

Ⅳ-2-4: 地域医療を通じて地域づくりに貢献する能力

○教科書

1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009

2) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

1) 野中 猛、上原 久、高室 成幸「ケア会議の技術」、2007

2) 自治医科大学「地域医療白書1～4号」、2002、2007、2012、2017

3) 小谷 和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

4) 日本プライマリ・ケア連合学会「基本研修ハンドブック」、南山堂、2017

5) 自治医科大学「地域医療フォーラム2019報告書」、2019

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年11月7日(月) 1	1 地域社会のリーダー像、ナレッジマネジメント	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月7日(月) 2	2 ブレイクスルー思考1	日比野 創	外来講師
2022年11月7日(月) 3	3 ブレイクスルー思考2	日比野 創	外来講師
2022年11月7日(月) 4	4 アンガーマネジメント	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月7日(月) 5	5 組織マネジメント (後半:実習ガイド)	小谷 和彦	地域医療学部門
2023年11月8日(水) 1	6 地方公共団体の仕組みと行政との協働	藤田 康幸	学内講師
2022年11月8日(火) 2	7 パーソナライズドコミュニケーション理論	小谷 和彦	地域医療学部門
2022年11月8日(火) 3	8 国際化時代のリーダーシップとキャリアパス	宮田 俊男	外来講師
2022年11月8日(火) 4,5	9 多職種連携 (IPE) 実習	小谷 和彦 中村 晃久	地域医療学部門 地域医療学部門
2022年11月9日(水) 1,2,3	10 多職種連携 (IPE) 実習	小谷 和彦 中村 晃久	地域医療学部門 地域医療学部門
2022年11月9日(水) 4	11 地域医療学総括	小谷 和彦	地域医療学部門

○成績評価方法

原則として試験結果を基に行う。実習時の態度に対する評価も加味する。

○試験方法

筆記問題と多肢選択問題で行う。

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 6 1 0 4	公衆衛生学	中村 好一	5 学 年

○ねらい

- 1) 公衆衛生活動および保健医療福祉行政の実際を理解する。
- 2) 保健衛生水準の現状を認識し、問題点を指摘し、解決する能力を養う。
- 3) 保健予防に関する基礎的知識を習得する。
- 4) わが国における社会保障、社会福祉制度の概要を理解する。
- 5) 公衆衛生活動におけるチーム・ワークの重要性を認識し、強調的、指導的態度を養う。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

A-1 : プロフェッショナリズム

A-2 : 医学知識と問題対応能力

B : 社会と医学・医療

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

IV-1-3 : 医療における安全性の確保と事故対応についての知識と実践

IV-1-4 : 疾病予防・健康促進についての知識と実践

IV-1-5 : リハビリテーション、障害者福祉、介護・ケアについての知識と実践

○教科書

中村好一、他編：公衆衛生マニュアル 2022 (第40版)、南山堂、2022.

○参考書

- 1) 厚生統計協会：国民衛生の動向 2021/2022 B1329350、国民福祉の動向 2021/2022
- 2) 柳川 洋、梶井英治監修：保健福祉活動のてびき、ぎょうせい、2000. B1090862
- 3) 厚生労働省監修：厚生労働白書 (令和2年版)、ぎょうせい.
- 4) Detels, R. (Ed.) : Oxford Textbook of Public Health, 5th Ed., Oxford Medical Publications, Oxford University Press, 2009.

○視聴覚資料

○授業内容、授業項目

年月日 (曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義・実習			
2022年11月7日(月) 1	1 公衆衛生：歴史と考え方、定義、健康の概念	中村 好一	公衆衛生学
2022年11月7日(月) 2	2 地域保健活動 (1)	松原 優里 (中村好一)	公衆衛生学 公衆衛生学
2022年11月7日(月) 3	3 母子保健	小佐見光樹 (中村好一)	公衆衛生学 公衆衛生学
2022年11月7日(月) 4	4 公衆衛生と倫理	阿江 竜介	公衆衛生学
2022年11月8日(火) 1	5 感染症対策	笹原 鉄平	公衆衛生学
2022年11月8日(火) 2	6 人口統計と保健統計 (1)	牧野 伸子	公衆衛生学
2022年11月8日(火) 3	7 人口統計と保健統計 (2)	牧野 伸子	公衆衛生学
2022年11月8日(火) 4	8 国際保健、学校保健	中村 好一	公衆衛生学
2022年11月9日(水) 1	9 国民栄養と食品保健	石川 鎮清	公衆衛生学
2022年11月9日(水) 2	10 社会保障論	小池 創一	公衆衛生学
2022年11月9日(水) 3	11 保健・医療・福祉・介護関係法規概論	青山 泰子	公衆衛生学
2022年11月9日(水) 4	12 社会と医療	松原 優里 (中村好一)	公衆衛生学 公衆衛生学
2022年11月10日(木) 1	13 予防医学と健康保持増進 (1)	中村 好一	公衆衛生学
2022年11月10日(木) 2	14 予防医学と健康保持増進 (2)	中村 好一	公衆衛生学
2022年11月10日(木) 3	15 地域保健活動 (2)	中村 好一	公衆衛生学
2022年11月10日(木) 4	16 保健・医療・福祉・介護の仕組みと保健行政	高本 和彦	公衆衛生学

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
2022年11月11日(金) 1	17 社会保障制度と医療経済	小佐見光樹 (中村好一)	公衆衛生学 公衆衛生学
2022年11月11日(金) 2	18 成人保健・老人保健、難病対策	阿江 竜介	公衆衛生学
2022年11月11日(金) 3	19 精神保健福祉、歯科保健	松原 優里 (中村好一)	公衆衛生学 公衆衛生学
2022年11月11日(金) 4	20 保健活動と保健行政	渡辺 晃紀	非常勤講師
2022年11月14日(月) 1,2,3,4,5	21 地域保健実習 (実習)	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所
2022年11月15日(火) 1,2,3,4,5	22 地域保健実習 (実習)	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所
2022年11月16日(水) 1,2,3,4,5	23 地域保健実習 (実習)	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所
2022年11月17日(木) 1,2,3,4,5	24 地域保健実習 (実習)	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所

年月日(曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
2022年11月18日(金) 1,2,3,4,5	25 地域保健実習 (実習)	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見 光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所
2022年12月5日(月) 4	26 地域保健実習報告会	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見 光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 各保健所長他	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 各保健所
2022年12月5日(月) 5	27 地域保健実習報告会	中村 好一 高本 和彦 牧野 伸子 青山 泰子 阿江 竜介 松原 優里 小佐見 光樹 坂田 清美 尾島 俊之 渡辺 晃紀 定金 敦子 外 来 講 師	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師

○成績評価方法

定期試験 (70%) 実習 (20%) 講義・実習での態度 (10%)

○試験方法

論述問題を基本とする。多肢選択問題を加えることもある。講義・実習の欠席者は受験を認めない。

科目番号	科目名	責任者	学年
L4101	早期体験実習	小谷 和彦	1 学年

○ねらい

- 1) 医療従事者や患者について理解する。
- 2) 大規模ならびに中小規模の医療機関の役割について比較しながら理解する。

○到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- A-1 : プロフェッショナリズム
A-4 : コミュニケーション能力
A-5-1 : チーム医療の実践-患者中心のチーム医療

○コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- I-1-2 : 保健・医療・医学の専門職としての役割の自覚と責任感をもつ
I-1-4 : 病気とともに、病人とその家庭や地域に強い関心を持ちこれらを支援の対象とする姿勢をもつ
IV-1-8 : 医療科学 (医療放射線、理学療法、看護、臨床工学) についての知識
IV-1-9 : 予防・社会復帰を含む包括的なものとして社会と結びつけて医療を把握する態度

○教科書

- 1) 自治医科大学「地域医療テキスト」、医学書院、2009
- 2) 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会「地域医療学入門」、診断と治療社、2019

○参考書

- 1) 尾藤誠司「医師アタマとの付き合い方」、中公新書、2010
- 2) 村上紀美子「患者の目線」、医学書院、2014
- 3) 小谷和彦「地域包括ケア時代における行動変容と継続支援」、じほう、2016

○視聴覚資料

状況次第で指定する。

○授業内容、授業項目

年月日 (曜) 時限	授 業 項 目	担 当 者	所 属
講義			
2022年5月30日(月) 1	1 オリエンテーション	小谷 和彦 中村 晃久	地域医療学部門 地域医療学部門
実習			
2022年6月1日(水) 1,2,3,4,5	1 院内実習 (自治医大附属病院; 外来・病棟)	小谷 和彦 中村 晃久 青山 泰子 浅田 義和 鈴木 義彦	地域医療学部門 地域医療学部門 社会学 医学教育センター メディカルシミュレーションセンター
2022年6月2日(木) 1,2,3,4,5	2 院内実習 (自治医大附属病院; 外来・病棟)	小谷 和彦 中村 晃久 青山 泰子 浅田 義和 鈴木 義彦	地域医療学部門 地域医療学部門 社会学 医学教育センター メディカルシミュレーションセンター
2022年6月3日(金) 1,2	3 院内実習報告会 (学内)	小谷 和彦 中村 晃久 青山 泰子 浅田 義和 鈴木 義彦	地域医療学部門 地域医療学部門 社会学 医学教育センター メディカルシミュレーションセンター

○成績評価方法

レポートならびに実習の評価点を合算する。なお、態度に対する評価を加味する。

○試験方法

レポートを提出する。

実習全体の概要	指導教員名	松村 正巳	所属講座	総合診療部門
---------	-------	-------	------	--------

実習の目的： スチューデント・ドクターとして内科診療の基本的な考えかた、診察技術、望ましい態度を実践する。
 外来診療・在宅診療を通じて、地域包括ケアを理解する。
 緩和ケアを学ぶ。

実習の内容： 外来では医療面接、身体診察からの臨床推論を実践し、望ましい態度を身につける。
 病棟実習では入院患者を担当し、診療チームの一員として行動する。
 EBM を診療に適応させ、在宅医療で NBM (narrative based medicine) を経験する。
 病棟見学やロールプレイを通じ、緩和ケアを経験する。

実習初日 病棟実習
 集合場所・ 集合場所：本館 2 階西カンファレンスルーム
 オリエン 集合時間：8:00
 テーション：
 外来診察実習
 集合場所：本館 2 階北 総合診療部門医局
 集合時間：9:30

事前準備・ 特になし
 用意してお
 くもの：

モデルコア F- 診療の基本
 カリキュラム
 対応項目： G- 臨床実習

医行為： 次ページ参考

実習・クルズス内容

科目	地域医療・総合診療	指導教員名	松村 正巳	所属講座	総合診療部門
----	-----------	-------	-------	------	--------

実習の目的： スチューデント・ドクターとして内科診療の基本的な考えかた、診察技術、望ましい態度を実践する。
 外来診療・在宅診療を通じて、地域包括ケアを理解する。
 緩和ケアを学ぶ。

実習の内容： 外来では医療面接、身体診察からの臨床推論を実践し、望ましい態度を身につける。
 病棟実習では入院患者を担当し、診療チームの一員として行動する。
 EBMを診療に適応させ、在宅医療でNBM（narrative based medicine）を経験する。
 病棟見学やロールプレイを通じ、緩和ケアを経験する。

モデルコア F- 診療の基本
 カリキュラム
 対応項目： G- 臨床実習

医行為： 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）、静脈採血、末梢静脈確保

科目	外来診察実習	指導教員名	小松 憲一	所属講座	地域臨床教育センター 茨城県西部地域医療学講座
----	--------	-------	-------	------	----------------------------

実習の目的： 初診患者の診察を行う。
 患者背景を踏まえ、医療面接、身体診察から臨床推論を実践する。

実習の内容： 初診患者の診察を行う。医療面接、身体診察から臨床推論を実践する。
 火曜日～金曜日の午前9時00分から新小山市民病院で行う。問診表から鑑別診断について考察する。
 収集すべき情報について予習する。指導医の監督のもと、1人が医療面接と身体診察を行う。
 指導医と医療面接、身体診察、鑑別診断についてディスカッションする。
 各曜日のまとめの時間に医療面接と臨床推論を中心に考察し、振り返りをする。
 金曜日は、外来実習での到達度についてフィードバックを受ける。
 まとめでのディスカッションを踏まえてワークシートを完成させ、提出する。

モデルコア A-3- 診療技能と患者ケア
 カリキュラム
 対応項目： G-2- 臨床推論

医行為： 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）

科目	在宅医療	指導教員名	小松 憲一	所属講座	地域臨床教育センター 茨城県西部地域医療学講座
----	------	-------	-------	------	----------------------------

実習の目的： 在宅医療・訪問診療の実際（支える仕組み、関わる人の役割）を理解する。
地域包括ケアの実際（支える仕組み、関わる人の役割）を理解する。
Narrative based medicine について理解し、それに基づいて患者の抱える健康問題等を考える。

実習の内容： 実習協力施設の訪問診療に同行し、訪問診療の実際の様子を見学する。
新小山市民病院入院患者を担当し、退院までのマネジメント、退院後の生活について考察する。
金曜日のBSL全体のまとめの時間に在宅医療・訪問診療実習について振り返りを行う。

モデルコア A-1-2- プロフェッショナリズム - 患者中心の視点
カリキュラム
対応項目： A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力

医行為： 該当項目なし

科目	外来医療面接模擬演習	指導教員名	松山泰／神谷尚子	所属講座	医学教育センター
----	------------	-------	----------	------	----------

実習の目的： 医療面接の2つの側面（情報収集、医師患者関係の構築）を理解する。
適切な医療面接（オープニング、情報収集、交渉・調整、クロージング）を理解する。
代表的な医療面接スキルを実際に使いながら学ぶ。

実習の内容： 模擬患者の演じる外来患者の診察をロールプレイとして行う。
2症例、初診患者の医療面接と、検査結果や治療方針の説明とを行う。
医療面接を通じて鑑別診断や診療計画を立ててもらいが、同時に良好な医師患者関係を構築するための態度やスキルについてしっかり学ぶ。診療録形式のレポートを提出する。

モデルコア A-4-2- コミュニケーション能力 - 患者と医師の関係
カリキュラム
対応項目： F- 診療の基本

医行為： 該当項目なし

科目	症例プレゼンテーション	指導教員名	山本祐／笹原鉄平	所属講座	総合診療部門
----	-------------	-------	----------	------	--------

実習の目的： 患者情報の集約化を通して臨床推論を学ぶ。
医療者間での情報共有に必要な基本的言語的コミュニケーションスキルを身につける。
プレゼンテーションする相手を意識した用語を選択できる。

実習の内容： 症例プレゼンテーションの基本型、アセスメント中心型およびコンサルテーションを
レクチャー形式で学ぶ。
アセスメント中心の型とコンサルテーションをシナリオを用いて実践する。

モデルコア カリキュラム G-1-1- (1) - 診療の基本 - 医師として求められる基本的な資質・能力 (A 参照)
対応項目： G-1-1- (3) - 診療の基本 - 学生を信頼し任せられる役割

医行為： 該当項目なし

科目	文献検索	指導教員名	神谷 尚子	所属講座	総合診療部門
----	------	-------	-------	------	--------

実習の目的： 地域医療で起こりうる身近な臨床的疑問の解決のための文献検索の方法を学び、文献
に親しむこと。

実習の内容： 臨床上の疑問を明確化するために、EBMのステップの重要性を知識として習得し、
ケースを用いてPICO（もしくはPECO）で定式化する。
iPadを使用して実際に文献検索を行い、文献検索のツールの使い方に関する技術を習
得する。
エビデンスに基づいた診療を心掛ける態度を学ぶために、実際のケースを用いて、臨
床的疑問についての文献検索を行う。

モデルコア カリキュラム A-2-1- 医学知識と問題対応能力 - 課題探求・解決能力
対応項目： F-2-2- 基本的診療知識 - 根拠に基づいた医療

医行為： 該当項目なし

科目	病棟実習	指導教員名	山本 祐	所属講座	総合診療部門
----	------	-------	------	------	--------

実習の目的： 医療面接と身体診察から医学的な問題点を抽出し、鑑別診断から診断・治療に至るプロセスを学ぶ。

患者の心理・社会的な問題点も抽出し、その解決策を探ることができる。

患者に配慮した診療を行うことができる。

実習の内容： 主治医チームの一員となり、診療に参加する。

病棟カンファレンスにおいて、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。

月曜日午後2時からの病棟教育回診で身体診察を学び、診断・治療のディスカッションに参加する。

モデルコア カリキュラム A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力

カリキュラム

対応項目： G-1-1- 診療の基本 - 臨床実習

医行為： 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）、静脈採血、末梢静脈確保

科目	チャートラウンド	指導教員名	松村正巳／畠山修司	所属講座	総合診療部門
----	----------	-------	-----------	------	--------

実習の目的： 入院患者の診療を学ぶ。さらに、担当患者のプレゼンテーションを行い、その手法を学ぶ。

実習の内容： チャートラウンドに参加し、診断・治療のディスカッションに参加する。

モデルコア カリキュラム F-1- 症候・病態からのアプローチ

カリキュラム

対応項目： G-2- 臨床推論

医行為： 該当項目なし

科目	病棟診療のまとめ	指導教員名	畠山 修司	所属講座	総合診療部門
----	----------	-------	-------	------	--------

実習の目的： 病棟診療について振り返る。

実習の内容： 担当患者について、端的にプレゼンテーションを行い、学習目標の達成度、得られたもの、反省点、今後の学習への展望について話す。同僚学生および指導教員とディスカッションを行い、参加者全員の理解を深める。

モデルコア A-1- プロフェッショナリズム
カリキュラム
対応項目： A-2- 医学知識と問題対応能力

医行為： 該当項目なし

科目	緩和ケア	指導教員名	丹波 嘉一郎	所属講座	緩和ケア部
----	------	-------	--------	------	-------

実習の目的： (1) 緩和ケアと地域医療の関連を知る。
(2) Bad news の伝え方を学ぶ。
(3) 緩和ケア病棟見学。

実習の内容： 月曜日午後 16:30～17:30 講義ならびにロールプレイ、緩和ケア病棟見学。
緩和ケアは、高齢化した地域医療には欠かせない医療であり、その要点を学ぶとともに、ロールプレイを通して、Bad news の伝え方を体験する。また、緩和ケア病棟の見学を行う。

モデルコア A-4- コミュニケーション能力
カリキュラム
対応項目： F-2-16- 基本的診療知識 - 緩和ケア

医行為： 該当項目なし

科目	外来診療のまとめ	指導教員名	松村正巳／畠山修司	所属講座	総合診療部門
----	----------	-------	-----------	------	--------

実習の目的： 外来診療について振り返る。

実習の内容： 担当患者について、簡単にプレゼンテーションを行い、学習目標の達成度、得られたもの、反省点、今後の学習への展望について話す。同僚学生と指導教員から、フィードバックを受ける。
地域医療Ⅰについて、学習プログラムとしての評価を述べる。

モデルコア カリキュラム A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力

カリキュラム

対応項目： A-4- コミュニケーション能力

医行為： 該当項目なし

予定表 (具体的な予定表はオリエンテーション時に配布する)

必修：病棟2週間、外来1週間

病棟第1週

月	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
火	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
水	08:00 ~	病棟ミーティング (8西)	8階西病棟
	13:00 ~	ミーティング後 チーム医療参加 チーム医療参加	
木	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
金	08:00 ~	チャートラウンド	本館2階西 カンファレンス室
	10:00 ~	チーム医療参加	
	13:00 ~	チーム医療参加	

病棟第2週

月	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
火	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
水	08:00 ~	病棟ミーティング (8西)	8階西病棟
	13:00 ~	ミーティング後 チーム医療参加 チーム医療参加	
木	08:00 ~	病棟カンファレンス	本館2階西 カンファレンス室
	13:00 ~	カンファレンス後 チーム医療参加 チーム医療参加	
金	08:00 ~	チャートラウンド	本館2階西 カンファレンス室
	10:00 ~	チーム医療参加	
	10:45 ~ 11:45	病棟2週間のまとめ	
	11:45 ~ 12:00	外来診察実習のオリエンテーション	
	13:00 ~	チーム医療参加	

外来：外来診察実習グループ

月	08:30 ~	外来医療面接実習オリエンテーション(メディア授業)	寮自室
	09:30 ~	外来医療面接模擬演習	本館2階北 総合診療部門医局
	14:20 ~	文献検索	本館2階北 総合診療部門医局
	16:30 ~	緩和ケア実習	本館2階北 総合診療部門医局
火	09:00 ~	新小山市民病院での外来実習	
	13:30 ~	外来診察実習の課題解決学習	
	15:30 ~	外来診察実習の振り返り	
水	09:00 ~	茨城県西部メディカルセンター及び実習協力施設での外来診察実習または入院患者実習	
	12:10 ~	実習協力施設での在宅医療実習	
	13:30 ~	入院患者実習	
	14:30 ~	外来診察実習の振り返り	
木	09:00 ~	茨城県西部メディカルセンター及び実習協力施設での外来診察実習または入院患者実習	
	12:10 ~	実習協力施設での在宅医療実習	
	13:30 ~	入院患者実習	
	14:30 ~	外来診察実習の振り返り	
金	09:00 ~	茨城県西部メディカルセンター及び実習協力施設での外来診察実習または入院患者実習	
	12:30 ~	外来診察実習・入院患者実習の振り返り	
	16:30 ~	外来診察実習1週間のまとめ	本館2階北 総合診療部門医局

外来：感染症科実習グループ

月	08:30 ~	感染症科の実習	
	10:00 ~	感染症科チャートラウンド	
		以降、16:30 まで感染症科実習	
	16:30 ~	緩和ケア実習	本館2階西 地域医療学センター医局

火曜日～金曜日は全て感染症科の実習

◇評価方法

実習中の指導医評価	65点
レポート	35点
合計	100点

実習中の指導医評価には態度・出席も加味する。

◇欠席する場合の連絡先

病棟実習：総合診療部門医局 内線 2986

外来診察実習

：総合診療部門医局	内線 2986
：新小山市民病院	0285-36-0200
：茨城県西部メディカルセンター	0296-24-9111
：筑西診療所	0296-28-2261

◇指導教員

◎：科目責任者 ○：BSL 担当指導教員

指導教員名		所属講座
教 授	◎松 村 正 巳	地域医療学センター総合診療部門
教 授	○丹 波 嘉一郎	緩和ケア部
教 授	○石 川 鎮 清	情報センター
教 授	○畠 山 修 司	地域医療学センター総合診療部門
准 教 授	○松 山 泰	医学教育センター
准 教 授	○笹 原 鉄 平	臨床感染症学部門
講 師	○石 川 由紀子	地域医療学センター総合診療部門
講 師	○山 本 祐	地域医療学センター総合診療部門
特 任 助 教	○小 松 憲 一	地域臨床教育センター 茨城県西部地域医療学講座
助 教	○白 石 裕 子	地域医療学センター総合診療部門
助 教	○神 谷 尚 子	地域医療学センター総合診療部門

◇注意事項

- 1 実習は総合診療内科において行う。
- 2 最終日にレポート、出席簿を提出すること。

実習全体の概要	指導教員名	小谷 和彦	所属講座	地域医療学部門
---------	-------	-------	------	---------

実習の目的： 地域医療（含へき地医療）を第一線の現場で体験する。
 地域医療に対する動機を明確にする。
 地域医療人としての将来設計（キャリア形成）をする。

実習の内容： 各自の原則として出身都道府県の臨床教員（地域担当）が調整する医療機関で実習する。この医療機関は診療所～中小規模の病院を主とする（Community-Based Clinical Clerkship：CB（C）L）。

M5：全員必修（8月22日〔5年生授業開始日〕～9月2日）：原則として出身都道府県で行う。

事前にオリエンテーションを行う。第1回オリエンテーション後に速やかに各都道府県の臨床教員（地域担当）と連絡をとり、実習についての確認を行う。臨床教員（地域担当）は実習現場（指導医）を指定する。

基本的にクリニカルクラークシップの下で、医療チームの一員として活動する。

推奨するプログラムとして外来と病棟の総合的な診療に加え、以下の経験を重視する：

- ①地域包括ケア
 - ②予防医療
 - ③在宅医療
 - ④介護・福祉系サービス
 - ⑤地域診断（社会医学的視点）
 - ⑥多職種連携とチーム医療
- ※地域の文化に接する機会（推奨）

実習初日 集合場所ならびに集合時間：実習先の指導医の指示による。

集合場所・
オリエン
テーション：

事前準備・ 実習先の指導医の指示による。

用意してお
くもの：

モデルコア A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力

カリキュラム

対応項目： A-7-1- 社会における医療の実践 - 地域医療への貢献

医行為： 実習先の指導医と相談する（医学生が実習で許される医行為に準ずる）。

◇評価方法

レポート 100点（臨床教員による評価を含む）

なお、態度の評価および実習報告会での言動も加味する。

◇欠席する場合の連絡先

各実習施設および地域医療学部門

◇指導教員

◎：科目責任者 ○：BSL担当指導教員

指導教員名		所属講座	
教 授	◎小 谷 和 彦	地域医療学センター	地域医療学部門
助 教	○中 村 晃 久	地域医療学センター	地域医療学部門

◇注意事項

1. 事前にオリエンテーションを行う（必ず出席する）。
2. 実習報告書の提出期限は9/12（月）の17：00（厳守／以後の受付は不可）とする。
3. 実習報告会（学内）は9/22（木）6限に行う。
4. 体調や安全に配慮して実習に臨む。

実習全体の概要	指導教員名	小谷 和彦	所属講座	地域医療学部門
---------	-------	-------	------	---------

- 実習の目的： 1) 原則として、各出身都道府県の拠点病院での現場体験をする。
 2) 拠点病院での実践に触れながら、自らの将来設計（キャリア形成）を考える。
 3) 指導医のもとで患者を受け持って、主体性や責任感を育む。

実習の内容： 原則として、各自の出身都道府県の拠点病院で行う。
 基本的にクリニカルクラークシップを行う。指導医のもとで、可能な限り、医師と同様に行動する。また、可能な範囲内で診療録に記載する。

※学修すべき項目

- ・ 外来診療（初診、再診、救急）
- ・ 入院診療
- ・ 医療面接
- ・ 身体診察
- ・ 診断の進め方
- ・ 検査の選択
- ・ 患者への説明と患者の意思決定支援
- ・ 療養指導と服薬指導
- ・ 紹介（コンサルテーション）の方法

実施期間（M6）

1. 2022年5月9日（月）～2022年6月3日（金）（第4クール：全員必修）
2. 2022年6月6日（月）～2022年7月1日（金）（第5クール：選択）

ただし、2. の選択にあたっては M5 総合判定試験および BSL の態度に関する結果が加味される。

実習初日 集合場所：各自の実習先
 集合場所・ 集合時間：8：30（各施設の指示に従う）
 オリエンテーション：オリエンテーション：実習は M6 時に行うが、M5 後半に事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。その際に、受け入れ可能な実習施設の情報を提示する。Moodle でアナウンスする。

事前準備・ 各自の実習先に確認する。
 用意しておくもの：

モデルコアカリキュラム A-3-1- 診療技能と患者ケア - 全人的実践的能力
 対応項目： A-5-1- チーム医療の実践 - 患者中心のチーム医療

医行為： 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）

◇評価方法

出席	25点
レポート	50点
態度（指導医の評価による）	25点
合計	100点

なお、実習全体を通しての態度の評価も加味する。

◇欠席する場合の連絡先

各実習施設および地域医療学部門

◇指導教員

◎：科目責任者 ○：BSL 担当指導教員

指導教員名		所属講座	
教 授	◎小 谷 和 彦	地域医療学センター	地域医療学部門
助 教	○中 村 晃 久	地域医療学センター	地域医療学部門

◇注意事項

1. 実習報告書の期限は、
（第4クール）2022年6月13日（月）17：00 ※厳守／以後、受付不可。
（第5クール）2022年7月11日（月）17：00 ※厳守／以後、受付不可。
実習報告書は実習先に送付する。
2. 交通費及び宿泊費（素泊まり料金。食事は自己負担）は、後日精算する（オリエンテーションで説明する）。
3. 体調や安全に配慮して実習に臨む。